

福岡市なぎなた連盟

【設立年月日】1955（昭30）年5月

【加盟年月日】1966（昭41）年5月

【歴代会長】

初代 佐田 喜久子

1955（昭30）年～1986（昭61）年3月

2代 喜多 洋子

1986（昭61）年4月～1988（昭63）年3月

3代 桑原 暉子

1988（昭63）年4月～1999（平11）年3月

4代 高田 保男

1999（平11）年4月～現在

【歴代理事長】

初代 一戸 浩子

1955（昭30）年5月～2002（平14）年3月

2代 荒木 圭子

2002（平14）年4月～現在

【沿革】

(1) 創立から現在まで

1955（昭30）年に古賀馨・一戸浩子・鈴木文子の3名の先生方が福岡市なぎなた連盟の結成に向けて準備をし、その年の5月に市役所・市教育委員会・新聞社・剣道関係・婦人連絡協議会等、23名の来賓臨席のもと、7名の演武者で、新しいなぎなた、古流、試合、リズムなぎなたを発表し、福岡市なぎなた連盟の創立となりました。

1956（昭31）年福岡市剣道大会に、なぎなた演技出場したのを機に大会毎に参加し、PRに努めました。

1963年頃より、学生へのPRにも努めこの年、連盟の規約が成立しました。

1966（昭41）年5月、現在の（財）福岡市体育協会に加盟し、その後、社会人・家庭婦人への広報活動に力をいれました。

1973（昭48）年市民体育館主催のなぎなた教

室が実施され、その後は、振興課の主催で年2回の教室が1987（昭62）年まで続き、その結果、会員が増加し、1982（昭57）年の体協創立20周年の頃には会員も98名に達しました。

1982（昭57）年から1995（平7）年の間に南・中央・博多・城南・早良・西・と次々に体育館が開館され稽古場も増え、教室も平成元年からは、福岡市スポーツ振興事業団主催で行われ、平行して各体育館主催でも行われるようになり、現在、会員も各区の体育館に分かれて活動しています。

平成5年には福岡市なぎなた連盟旗を作成しました。

1987（昭62）年から現在まで福岡市民総合スポーツ大会・なぎなた大会を会員だけでなく、なぎなた愛好者も含めて毎年開催しています。

1975（昭50）年から九州大会、1989（平1）年から福岡県民大会、1993（平5）年からは全国健康福祉大会（ねんりんピック）にも参加出場をしています。

また、連盟主催で指導員研修会を毎年行っており、県・九州ブロック・全日関係の研修会にも希望参加をしています。

現在、福岡市なぎなた連盟は、梢風会、笹の会、済美会の3つの団体から成り立っています。連盟加入の少年クラブがない事、会員数の減少、稽古場の確保が年々困難になってきている事等、問題もありますが、2005（平17）年、福岡市なぎなた連盟創立50周年を迎える事が出来、今は亡き古賀先生・鈴木先生・一戸先生のお教をを大事にしながら会員一同、お稽古に精進しています。



市民総合スポーツ大会入場行進

【活動状況】

* 梢風会

毎週木曜日、午後6時半から、福岡市民体育館にて、基本技、しかけ・応じを中心に稽古をしています。

* 笹の会

毎週木曜日、午前11時から、福岡市中央体育館にて、基本技、しかけ・応じ、試合競技、古流の稽古をしています。

* 済美会

◎ももちA

隔週火曜日、午後1時から、ももち体育館にて、基本技、しかけ・応じ、古流の稽古をしています。

◎東体育館

第1・3水曜日、午前10時から、福岡市民体育館にて、古流の稽古をしています。

◎博多体育館

毎週木曜日、午前9時から、博多体育館にて、基本技、しかけ・応じ、古流の稽古をしています。

◎ももちB

毎週月曜日、午前9時から、基本技、しかけ・応じ、古流の稽古をしています。

◎南体育館

毎週金曜日、午前11時から、南体育館にて、基本技、しかけ・応じ、試合競技、古流を稽古しています。

◎城南体育館

毎週木曜日、午前9時から、城南体育館にて、基本技、しかけ・応じ、試合競技、古流を稽古しています。

◎早良体育館

毎週月曜日、午前9時から、早良体育館にて、基本技、しかけ・応じ、古流を稽古しています。

◎西体育館

毎週水曜日、午前9時から、基本技、しかけ・応じの稽古をしています

それぞれ、指導者、指導員の下、稽古に精進し、日本古来の女子武道の精神を継承し、生涯スポーツとして、なぎなたの発展と普及に努めていきたいと思っております。

最後に、貴（財）福岡市体育協会には、連盟の組織強化のため日頃からひとかたならぬお力を賜り、会員一同心から感謝致しております。今後もよろしくお願い申し上げます。



初心者なぎなた教室